



気軽に自然とふれあえる場所 第12回「市民の森」森開き

4月28日、市民の森(吉田山)で森開きを行いました。米沢小学校5年生親子ら約60人が参加。代表者によるテープカットに見立てた丸太をカットし、里山シーズンの到来を告げました。

恒例のどんぐりの植ええでは、市民の森で採取したコナラの実を班別にプランターに植えました。芽が出た苗は来年の秋の育林祭で植樹する予定です。

その他にも問題を解きながら散策するウォークラリー、白樺の木を使ったオリジナルバッジ作りなども楽しみました。

市民の森は11月中旬まで開放しています。どうぞ、ご利用ください。



自然を大切にする心を育む

金鶏グリーンデー

5月11日、金沢小学校で「金鶏グリーンデー」がありました。児童がPTAや地域の人と一緒に森林保全などの活動するイベントで、みどりの少年団の活動として2001年から続いています。高学年の児童は、学校裏手の金沢山国有林にある学校部分林でヒノキの間伐作業をしました。保護者や地域の方のアドバイスをを受けながら、のこぎりで間伐作業に励み、笛の合図で木が倒れると歓声を上げていました。伐採木は、薪や工作に活用します。

また低学年の児童は、金沢公園でネイチャーゲームを行い、自然と触れ合いました。



伝統の祭り 平成最後のどぶろくを楽しむ

どぶろく祭り

毎年4月27日に開催される伝統のどぶろく祭が今年も茅野市本町の御座石神社境内で行われました。祭りのために3人の醸造当番が仕込んだどぶろく約1600盃が振る舞われました。

午後2時頃から乾杯の合図で酒宴が始まり、各自で用意したお弁当などを食べながら、どぶろくを賞味していました。境内の前では踊りや太鼓も披露され、祭りを盛り上げました。



茅野市インターネット動画サイト「ビーナネット Chino」では茅野市の生活や文化・魅力を動画配信しています。
フォトニュースの出来事も一部配信中です。
写真内のQRコードから動画をお楽しみください。



泥まみれで大はしゃぎ

多留姫文学自然の里 田植えまつり

5月18日、多留姫神田にて田植えまつりを行いました。多留姫文学自然の里創造委員会主催で年5回行われる米づくり体験の初回。約70人の方が参加し、昔ながらの手植えを体験しました。

参加した小学生や保育園児は裸足で田んぼに入り、ぬかるむ足もとに苦戦しながらも楽しむ様子が見られました。今年度は「参加カード」を作り、スタンプを集めると最終回の餅つき大会で、お楽しみプレゼントも用意しています。



新たな仲間を歓迎

CHUKOらんどチノチノ 新歓ライブ

5月9、10日の両日、茅野市民館イベントスペースにてCHUKOらんどチノチノで活動する中高生グループが出演する「新歓ライブ」を行いました。新年度を迎え、新しい仲間を歓迎するとともに、施設をPRする目的で開催。演奏やダンス、大道芸などさまざまな発表で会場は熱気で包まれました。初日は6グループ、2日目は11グループが出演。観客も熱の入った演奏に体全体で応えていました。

CHUKOらんどチノチノは中高生のみが利用できる施設。今回の新歓ライブのほかに、年数回のライブを予定しています。



集中豪雨発生を想定して

水防・土砂災害訓練

5月26日、水防・土砂災害訓練を金沢の木舟区と大池区を主会場に行いました。今回の訓練会場となる大池区・木舟区は、土砂災害が発生する恐れがある地域で、特に土砂災害発生の危険が非常に高く、避難所等の安全な場所への退避避難が必要な地区のため、市と協定を結んでいるキッツ茅野工場に避難する訓練を実施しました。木舟・大池の両区自主防災組織が同工場内の食堂に両区の災害対策本部と避難所を開設し避難してきた区民の安否確認や飲み物配布などを行いました。今回の訓練では100人余りが避難しました。



みんなのアイデアを共有して「いいとこみつけ」

茅野市民館 よりあい劇場 2019→2020 アイデア・パフォーマンス発表

5月18日、茅野市民館で「よりあい劇場」が開かれました。さまざまな想いや表現への興味を知り、市民館・美術館の事業検討に生かすため、毎年公募している事業提案のアイデアを共有するプレゼンテーションです。会場では、エントリーした地域の皆さんが、劇場・美術館でやってみたいこと、地域で生き生きと活動すること、世代も個性もさまざまな人同士がまげこげに楽しむこと…といったアイデアを発表。演奏やダンスなどのパフォーマンスもあり、来場者もアイデアのいいところや感想をやりとりして、交流を深めました。発表内容や感想は、市民館の2020年度事業の検討に生かされます。